

能代市水素ラボ構想【その①】

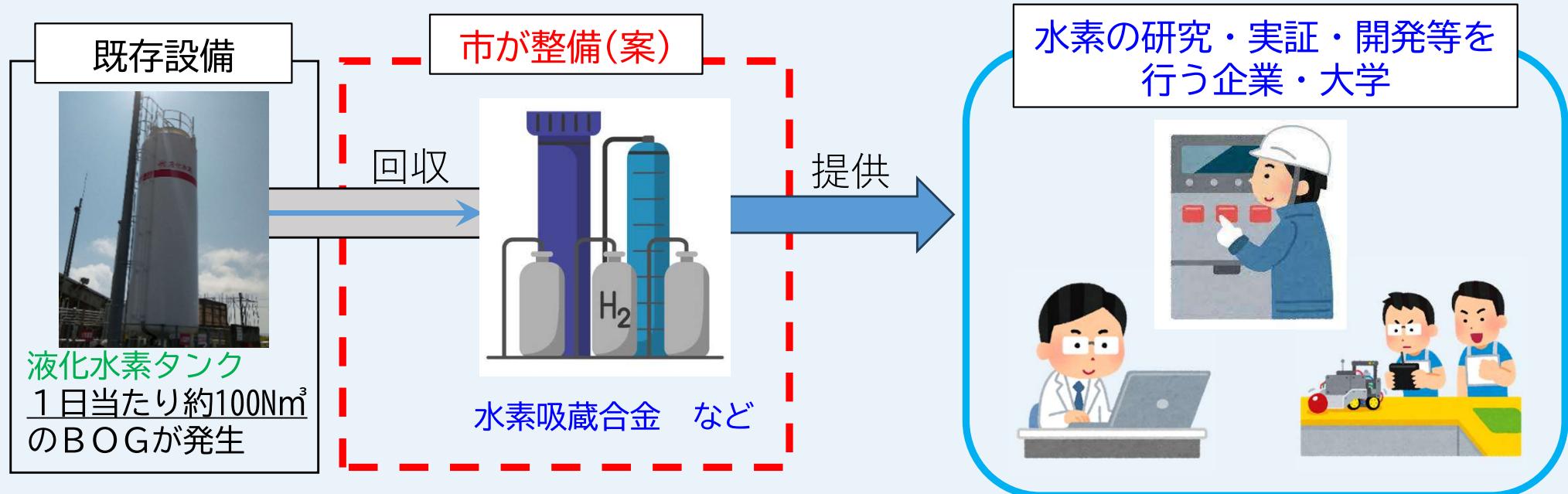
●水素社会実現に向けた様々な課題（一部）

- ・国・大企業が中心となってサプライチェーン構築を進めているが、需要家が不足している。
- ・法規制や設備コストの問題があり、大学や中小企業が単独で参入するにはハードルが高い。

能代ならではの
寄与

水素（ボイルオフガス）再利用施設整備【公設試】

JAXA能代ロケット実験場内の液化水素貯蔵タンクから発生する水素（ボイルオフガス）を再利用し、研究・実証・開発目的で大学・企業等が使える共同研究施設（公設試）を整備



BOGは市や企業が独占的に使わず、水素社会実現に向かう多くの関係者に役立てもらいたい。

○水素ガスを利用したミニマムな研究・実証・開発等のニーズを集め、プレイヤーを創出

能代市水素ラボ構想【その②】

●課題

- 専門的な人材が不足（水素・宇宙分野に触れられるフィールドが少ない）
- JAXA能代ロケット実験場内に、企業等のスペースが不足
- 多くの水素、宇宙関連の関係者が集まても、横のつながりが希薄

能代ならではの
寄与

水素・宇宙分野のインキュベーション拠点整備

水素・宇宙産業に関する実験が行えるフィールドのそばに、関係者が集積し、各産業の発展を図るとともに、人材育成を行える拠点整備を目指す



○水素・宇宙産業のプレイヤー創出・人材育成に向けた拠点を整備